

あいち農産物生産流通レポート

平成27年5月号

情報サロン		
・安全・安心な漬物づくりに向けて ～漬物技術研究会の講演から～	(園芸農産課)	1
地域トピックス		
・梶孝光さんが「小ギクと和牛繁殖の複合経営」で生産局長賞を受賞 (豊田加茂農林水産事務所)		2
東日本情報		
・首都圏における県知事トップセールスの開催状況 (東京事務所)		3
フラワーページ		
・本県花きの需要対策について (園芸農産課)		5
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し		9
花き		
・切花・鉢花の5月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年2月)		25
関連指数		26

今月、西日本情報はありません。

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

安全・安心な漬物づくりに向けて ～漬物技術研究会の講演から～

園芸農産課

平成27年1月29日、名古屋市西区の愛知県食品工業技術センターにおいて、食品工業技術センターと公益社団法人愛知県漬物協会の共催で、「漬物技術研究会」が開催されました。この研究会は、協会会員及び一般県民を対象に、様々な食に関する話題、近年は特に安全安心な食品の製造に関する知識・技術をテーマに開催しています。今回の研究会の話題から、漬物をはじめとする非許可食品製造業等⁽¹⁾の届出制度の制定の背景などを紹介します。

非許可食品製造業等の届出制度について

漬物等の食品の簡易な製造・加工については従来から営業許可が不要であり、届出等の規制もありませんでした。しかし、平成24年8月に北海道で浅漬による腸管出血性大腸菌食中毒が発生したことを受け、厚生労働省は、各自治体に、浅漬製造事業者の把握に努め適切な周知・指導を行うよう通知しました。これを受けて、愛知県では、全ての非許可食品製造業を対象に、保健所が積極的に施設の実態把握に努め衛生管理の指導を行ってきました。



非許可食品製造業等届出制度の講演

しかし、平成26年7月に静岡市で冷やしきゅうりによる腸管出血性大腸菌食中毒が再び発生したことから、製造業者自身による自主的な衛生管理を推進するため、県内の漬物製造を含む全ての非許可食品、添加物、器具、容器包装及びおもちゃの製造業を、届出対象業種と規定し、平成27年7月より届出制度が始まることとなりました。

非許可食品製造業：漬物、カット野菜、液卵、魚介類加工品、ジャム、そうざい半製品、こんにゃく、粉末食品等の製造・加工業

また、厚生労働省による「食品等事業者が実施すべき管理運営基準に関する指針(ガイドライン)」の改正(平成26年5月)を受け、愛知県食品衛生条例が、全食品製造業を対象として、現行の管理運営基準に加えHACCP導入型基準を設定、いずれかを適用(選択的導入)できるよう改正され、平成27年4月1日より施行されています。

(講師：愛知県健康福祉部保健医療局生活衛生課)

(公社)愛知県漬物協会の取組について

(公社)愛知県漬物協会は、愛知県内の漬物製造業者および関連資材機器業者で構成し、今回の研修会をはじめ様々な公益事業を行っています。

協会は、これらの制度改正をきっかけに、衛生管理の徹底のため様々な取組を会員以外の製造業者にも広く呼びかけていき、HACCPの導入についてもこれからの食品製造施設に必要不可欠ととらえ、研修会等を通じて働きかけ、業界一体で安全・安心な漬物づくりを進めていきたいと考えています。

梶孝光さんが「小ギクと和牛繁殖の複合経営」で生産局長賞を受賞

豊田加茂農林水産事務所農政課



一般財団法人日本花普及センター主催の第24回花の国づくり共励会「花き技術・経営コンクール」で下山高原生花生産組合長の梶孝光さんが農林水産省生産局長賞を受賞した。

種豚経営から繁殖牛の育成と連携した小ギク栽培

昭和43年に養豚と稲作で営農を開始し、動物好きな孝光さんは繁殖和牛や馬の飼育も手掛け、毎年豚や牛の共進会に出品し、経営規模を拡大していった。昭和63年に種豚経営から和牛繁殖経営に転換すると共に小ギク栽培規模を拡大し、現在は山間地で小ギクと和牛繁殖の複合経営で安定した経営を行っている。

単価の高い豚や牛より単価の安い小ギクの方が儲かる！

昭和40年頃から下山村(現豊田市)では水田転作作物としてキクの栽培を推進しており、経営転換を模索していた妻の明美さんが栽培を始めた。孝光さんは明美さんのキク栽培を手伝ううち、豚や牛はどんなに相場が安くてもエサが必要でコストがかかるが、小ギクは単価が安くても露地で栽培でき、儲かることに気づいた。

繁殖牛の育成と連携した小ギク栽培

和牛22頭と子牛を合わせた約40頭の牛ふんにヒノキチップを混ぜてたい肥を作り、キク畑に入れて土づくりを行っている。「キク作りは苗作りから」といわれるが、収穫後の株から優良系統を選抜し、50種以上の品種を栽培している。

日本中にキクのいない花屋はいない

小ギクは6月に標高300mの畑から始まり、9月には標高500mの畑まで次々に開花していく。夏場でも夜温が20度程度に下がるため、花色が鮮明となる。孝光さんは約100万本の栽培計画を立て、お盆やお彼岸の出荷ピーク時には1日4万本を出荷している。最近ではイノシシやシカなどの被害も少ないことも利点となっている。

担い手を育て産地を守る

最近では獣害や高齢化で稲作が困難となり、米の代わりに小ギクを作ってほしいという依頼も多い。孝光さんは関係機関と連携して就農支援を行っている。個人的にも希望者には就農したらすぐに出荷できるよう、パートを兼ねて1~2年間一緒に作業を行い、小ギク栽培の指導をしている。孝光さんと一緒に組合の行事に参加する等、組合員とも顔見知りとなり、スムーズな就農へつながっている。



首都圏における県知事トップセールスの開催状況

平成27年3月1日現在、東京都の人口は1,339万人、埼玉県は724万人、神奈川県は909万人、千葉県は620万人であり、1都3県で約3,600万人が生活している非常に大きな消費地になっています。また東京都中央卸売市場における青果物、花きの総取扱額は、6,266億円（平成26年）でした。このような大きな消費地において、毎年多くの県知事が農産物等のPRにきています。今回は最近の県知事トップセールスの状況について報告します。

1 トップセールスの開催状況

表1 知事トップセールスの開催結果

no.	県名	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度
1	青森	○	○	○	
2	秋田	○	○	○	
3	山形	○	○	○	○
4	福島	○			○
5	茨城		○	○	○
6	栃木	○	○	○	
7	群馬	○	○		○
8	埼玉	○	○	○	○
9	千葉	○	○	○	○
10	石川	○		○	○
11	山梨	○	○	○	○
12	愛知	○	○	○	○
13	奈良		○	○	○
14	和歌山	○			
15	鳥取				○
16	島根			○	
17	岡山	○	○	○	○
18	香川		○	○	○
19	愛媛		○		
20	高知		○		
21	福岡	○	○	○	○
22	佐賀		○		
23	長崎			○	○
24	熊本	○			
25	大分	○		○	○
26	沖縄	○			○
計		17	17	17	17

※愛知県東京事務所調べ

首都圏における県知事のトップセールスは、最近では毎年度17県が開催していました（表1）。その主な目的は、市場においては県産農産物の市場関係者（せり人や仲卸業者、買参人等）へのPR、量販店や百貨店等においては消費者へのPRを行って県産農産物のファンになってもらい、取扱量の増加や継続的に購入していただくというものだと思われます。

最近の知事トップセールスの開催結果から、4年間継続して開催しているのは、山形県（以下県を省略）埼玉、千葉、山梨、愛知、岡山、福岡の7県でした。主な作物は、山形ではサクランボや米、埼玉は小松菜やホウレンソウ等野菜、千葉はキャベツやニンジン等野菜、山梨は桃や葡萄、愛知はキャベツやトマト等野菜、岡山は葡萄、福岡はいちごでした。

トップセールスの対象者については、消費者と市場関係者に大別されました（図1）。平成23年度は福島原発事故のことがあり、消費者に対する開催数が多くなっていました。市場関係者に対する

活動は大きな変化なく安定しており、24年度以降、消費者に対する活動が増えていまし

た。

トップセールスの主な品目は、果物が多くを占めていました。野菜・果物・花きを複合的にPRしたり、水産物や加工品を併せてPRする事例もありました。

愛知は、春に向けて野菜・果物・花きを複合的に都内で継続してPRしています。27年度についてもトップセールスを計画しており、首都圏での愛知ファンづくり活動の一つとして期待されます。

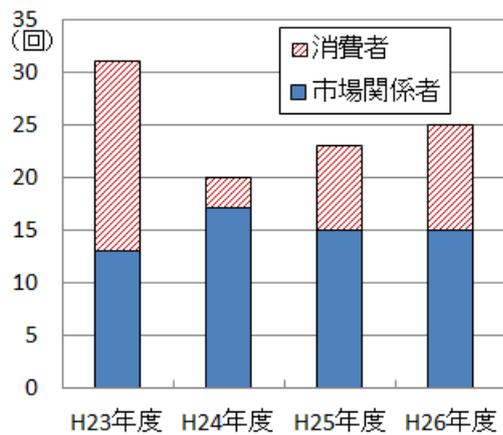


図1 トップセールスの対象者

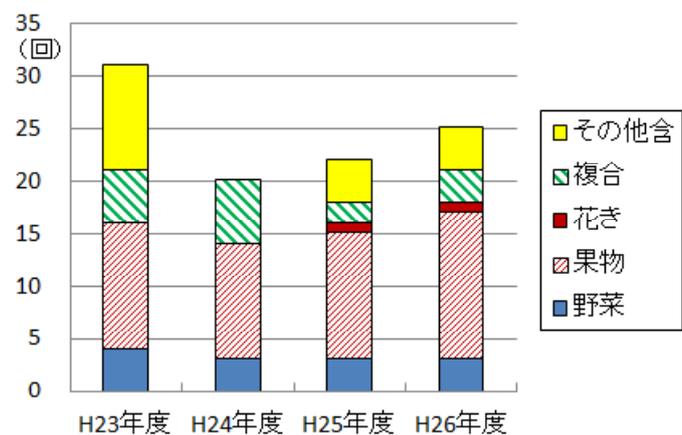


図2 トップセールスの主な品目

本県花きの需要対策について

愛知県の花き生産は、昭和 37 年以降 52 年間日本一を継続しています。しかし、平成 10 年の産出額 763 億円をピークに減少傾向にあり、近年持ち直しつつも平成 25 年（571 億円）にはピーク時の 75% 程度まで落ちこんでおり、花きの需要拡大が喫緊の課題となっています。

そのような中、愛知県では、平成 25 年度から花き関係団体等と一体となって「花の王国あいち県民運動実行委員会」を組織し、「花の王国あいち」の P R や花のある生活空間の提案など、暮らしの中に花を取り入れる「花いっぱい県民運動」を展開しています。

この運動とともに、花きのイベントを開催することにより、幅広い層の消費者に「あいちの花」を紹介し、新たな花き需要の創出を図っています。

1. 平成 26 年度「花いっぱい県民運動」の事業結果

(1) 花の王国あいち P R 促進

花の王国あいち県民運動実行委員会では、多種多様な本県の花を広く県民に知っていただくため、月替わりで「今月のあいちの花」を設定し、知事の定例記者会見や県庁舎、県内主要施設のほか、主産地（市町村）でも展示しました。

また、職場や地域であいちの花の活用に取り組んでいただく企業等を、「花の王国あいちサポート企業」として募集し、新たに 5 企業（団体）を認定しました。



主要施設における今月のあいちの花
の展示(平成 26 年 6 月 オアシス 21)



企業や団体等における花の活動
(平成 27 年 1 月 刈谷駅前商店街振興組合)

(2) 花育の推進

花の専門的知識や装飾技能を持ち、幼稚園・保育園、学校等でその普及指導ができる方（花育ティーチャー）に、県内小学校等に出向いていただき、寄せ植えやフラワーアレンジメント等を児童に体験してもらった花育教室を開催しました。（18 校



1,360 名参加)

(平成 27 年 1 月 14 日 岡崎市立六ツ美南部小学校)

(3) 花以外のイベントでのPR

26年度は、新たに「花の王国あいちパートナーシップ事業」として、花以外のイベントにおいて、あいちの花を使った装飾や来場者に花に触れていただく企画を実施し、花の王国あいちを幅広い県民にPRしました。

第50回献血運動推進全国大会
大相撲名古屋場所表彰式
ESDユネスコ世界会議
アビリンピック 技能五輪
名古屋ウイメンズマラソン



県ブースで花の装飾とブーケ作り体験を実施
(平成27年3月8日名古屋ウイメンズマラソン)

(4) あいちフラワーカップの開催

暮らしの様々な場面で花を贈り合う習慣の定着を目指し、大切な人に花に添えて贈りたい「花に込めたメッセージ」を公募し、応募数1,401点から優秀作品を選定し、応募者から贈りたい相手に、メッセージとともに花束を贈呈していただきました。

また、多くの方に生活の中での「あいちの花」の利用方法を知っていただくため、フラワーアレンジメントのコンテストや、生け花各流派によるデモンストレーションを実施しました



孫から祖母へメッセージと花の贈呈
(平成26年11月11日 犬山市立池野小学校)



あいち花フェスタでの生け花デモンストレーション
(平成26年11月24日 中部国際空港)

2. 花きのイベントを開催

愛知県では、あいちの花の魅力をPRし花きの需要につなげることを目的に、平成26年度に以下2つの花きのイベントを開催しました。

「あいち花フェスタ2014」

プレステージは知多市勤労文化会館で10月25~26日に、メインステージは11月21~24日に中部国際空港セントレアで開催しました。

メインステージでは、知多地域10市町の生産者が作るフラワーディスプレイや、約1,300鉢の地元産ポインセチアを使った大きなクリスマスツリー等、花いっぱいの会場展示を行い、来場者16万2700人に「あいちの花」をPR



あいち花フェスタ2014会場内
メインディスプレイ

することができました。

「フラワー・ガーデニングショー」

3月26～29日にオアシス21及び県芸術文化センターを会場に開催し、ガーデニングやフラワーコンテスト、園芸講座等のステージイベントの他、花き及び花き関連資材の販売展示PRを行い、来場者15万3500人に暮らしに花や緑を取り入れる方法等を紹介しました。

3. 今後の事業展開について

花の王国あいち需要拡大推進事業は、平成25年度から3年間の計画で進めており、最終年である27年度は、これまでの事業を継続しつつ、花育教室を拡充するなど、「花いっぱい県民運動」をさらに展開することとしています。

また、9月12日から11月8日まで、愛・地球博記念公園をメイン会場として「全国都市緑化あいちフェア」が開催されることから、より多くの方にあいちの花への理解を広めることができるよう、連携を図りながら取組を進めていきます。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋市中央卸売市場（品目：みつば）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
2 6 年実績	5 2 3	5 0 4 (9 6 %)	5 4 9	5 5 0	静岡 (3 %)
2 7 年見通し	5 1 0	-	5 4 0	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
尾張を中心に水耕で周年栽培されている。重油高の影響が続いていることと、水菜等他の水耕野菜を栽培する農家が増えていることから、収穫量は減少傾向にある。収穫量は減少しているものの、需要も減少していることから価格も減少傾向となる見込み。 入荷量、価格ともに前年をわずかに下回る見込み。			需要減の要因として、若い世代を中心に、みつばの食べ方を知らない方が増えていることが考えられる。 みつばは、家庭で味噌汁や炒め物等でおいしく食べられることを宣伝する等、みつばの需要促進に向けた工夫が求められる。		

東京都中央卸売市場（品目：ペコロス）

	入 荷 量 (t)		卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位 3 産地)
		うち愛知産		うち愛知産	
2 6 年実績	1 8	9 (5 0 %)	6 3 9	8 2 7	ニュージーランド (4 6 %) オーストラリア (2 %)
2 7 年見通し	1 8	-	6 4 0	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
今年の1～3月の入荷量は61t（対前年比120%）、平均単価は517円/kg（89%）であった。前年との違いは、北海道産の入荷量が増え、全体の89%を占めていた。本県産は天候不順で7日程度の生育遅れがみられるが、5月には回復し前年並の入荷を見込む。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。			ペコロスは、業務向けを中心に安定した需要がある。近年外国産の入荷量が増加しているなか、5月の愛知産に対する期待は大きく、また品質的に評価が高いことから、多くの安定した入荷量を求めている。		

名古屋・東京市場における青果物の5月の見通し

名古屋市中央卸売市場

4月15日 現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	36,281	213	235	198	209	愛知 33%
	23年	36,170	189	187	190	191	茨城 7%
	24年	37,549	208	211	210	203	徳島 7%
	25年	36,875	178	194	182	165	長野 6%
	26年	34,019	219	223	218	216	
	5ヵ年平均	36,179	201	-	-	-	
	27年見通し	34,700	215	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は地元愛知が中心。冬場の関東地方を中心とした雪の影響が懸念されるが、現在は天候にも恵まれ、全体的に生育は順調。5月からは春夏物が多く出てくる。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並みの見込み。							
だいこん	22年	2,280	89	87	90	92	愛知 88%
	23年	2,286	58	51	54	78	千葉 5%
	24年	2,530	98	87	115	97	鹿児島 4%
	25年	2,360	69	78	71	67	長崎 2%
	26年	2,041	84	79	89	93	
	5ヵ年平均	2,299	80	77	84	85	
	27年見通し	2,100	85	90	85	80	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知が中心となり、他に、鹿児島、長崎、千葉から入荷。愛知は4月中旬まで雨が多く、遅れ分は水太りの可能性がある。前年よりは出荷見込みがある模様。入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。							
にんじん	22年	2,663	117	116	108	128	徳島 79%
	23年	2,591	129	147	130	114	岐阜 14%
	24年	2,643	121	119	115	131	熊本 4%
	25年	2,444	116	124	114	111	長崎 2%
	26年	2,526	118	116	115	123	
	5ヵ年平均	2,574	120	124	116	122	
	27年見通し	2,400	126	120	120	140	前年及び本年の入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
徳島が中心となり、他に、岐阜。徳島は5月下旬に減少、岐阜県産が始まる。そのため徳島は上旬から中旬がピーク。2L、Lといった太物中心で、GW明けにのびてくる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

4月27日現在

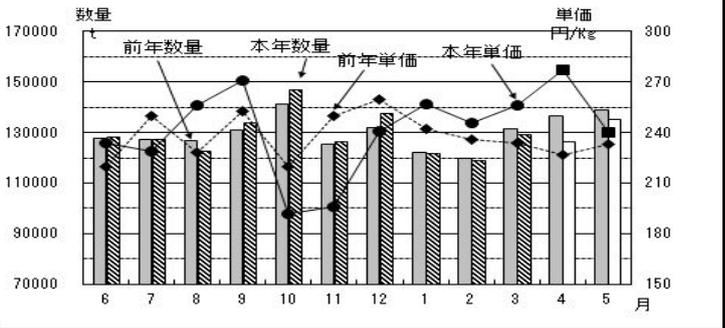
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)
			上旬	中旬	下旬	
野菜計	22年	134,986	225	239	212	千葉 19%
	23年	136,710	201	199	195	茨城 16%
	24年	146,994	220	218	226	佐賀 6%
	25年	145,709	192	203	190	長崎 4%
	26年	138,940	233	234	235	(愛知産比率 4%)
	5ヵ年平均	140,668	214	-	-	前年及び本年の
	27年見通し	135,000	240	-	-	入荷量・価格の動き

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

関東産地からの入荷が中心となる。土物類、果菜類は西南暖地からの入荷が本格化する。4月は気温低下と曇雨天が続いた影響で野菜全体の入荷量が少なく、高値基調で推移した。

入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をやや上回る見込み。

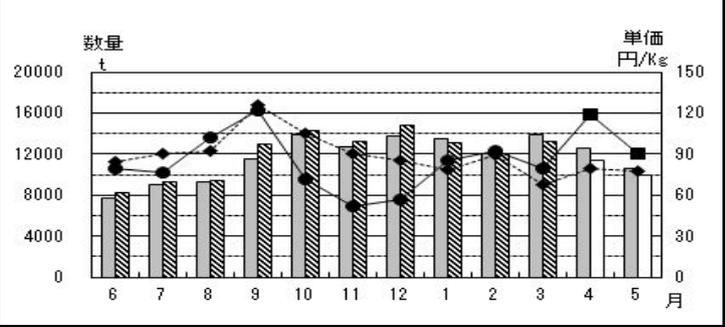


だいこん	22年	9,678	90	98	87	85	千葉 81%
	23年	9,642	64	55	57	81	茨城 12%
	24年	10,728	97	85	114	96	栃木 3%
	25年	9,623	72	89	70	56	鹿児島 1%
	26年	10,543	77	74	83	76	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	10,043	80	80	83	79	前年及び本年の
	27年見通し	10,000	90	120	90	60	入荷量・価格の動き

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

千葉、茨城からの入荷が中心となる。千葉は、降雨で一部は種が遅れたがその後は生育良好。関東産はピークを過ぎ徐々に減少していく。青森は5月中旬ころからの入荷見込み。

入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。

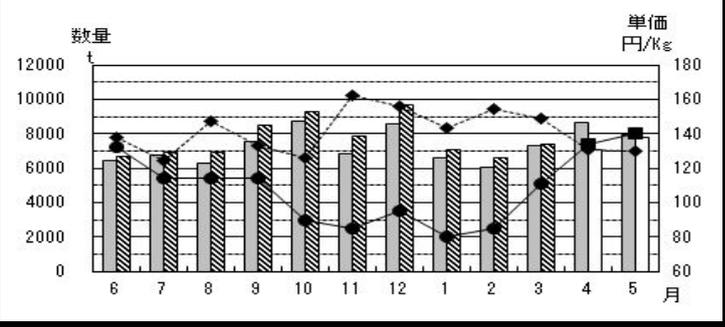


にんじん	22年	8,526	133	130	123	149	徳島 67%
	23年	8,730	138	152	140	138	千葉 23%
	24年	8,894	127	126	120	135	長崎 3%
	25年	8,380	126	129	124	124	中国 1%
	26年	7,961	130	125	124	140	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,498	131	133	126	137	前年及び本年の
	27年見通し	7,800	140	150	140	130	入荷量・価格の動き

**産地状況と
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

徳島、千葉からの入荷が中心となる。徳島は天候不順で小ぶりだが、5月連休明けまでがピークとなる。千葉は降雨で一部は種が遅れたがその後は生育良好、前年並の入荷が期待できる。

入荷量は前年をわずかに下回る見込みで、価格は前年をかなり上回る見込み。



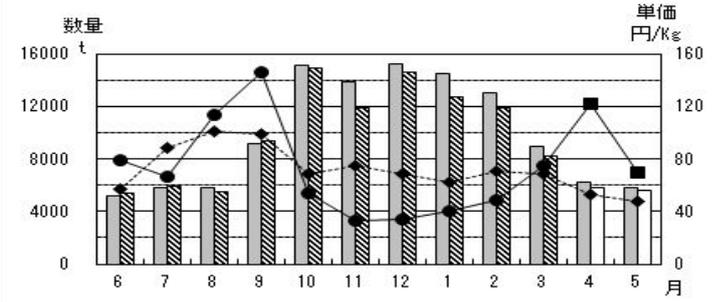
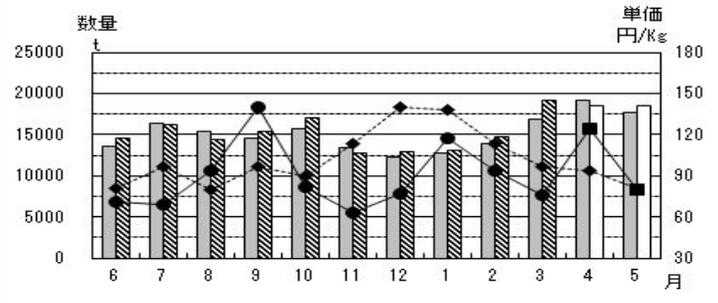
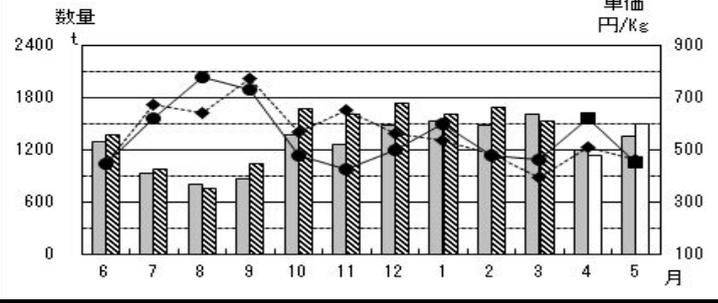
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうろくさい	22年	2,251	90	105	78	86	茨城 69% 愛知 26% 長野 4%
	23年	1,766	55	52	48	69	
	24年	1,825	74	58	84	91	
	25年	1,669	53	68	49	45	
	26年	1,506	61	59	61	67	
	5ヵ年平均	1,803	68	71	65	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,500	65	65	65	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城が中心となり、他に、愛知、長野から入荷。茨城は価格によって入荷量が左右されるが、生産は減らしていない。愛知の入荷量は減少しているが、下げ止まりとなる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							
キャベツ	22年	3,525	104	114	99	101	愛知 80% 茨城 11% 兵庫 2% 三重 2%
	23年	4,061	55	62	49	57	
	24年	4,396	113	91	171	101	
	25年	3,966	70	96	71	52	
	26年	3,779	86	88	97	78	
	5ヵ年平均	3,946	86	90	99	78	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	3,800	90	100	90	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>愛知が中心となり、他、茨城、神奈川が続く。 天候により、根張りが心配ではあるが、堅調な動きである。中旬は少なめだが、だんだん増えていくと思われる。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							
ほうろ	22年	296	506	541	521	473	岐阜 68% 愛知 16% 茨城 7%
	23年	244	448	355	444	533	
	24年	260	503	418	565	545	
	25年	283	467	495	515	420	
	26年	232	501	457	572	496	
	5ヵ年平均	263	485	457	523	491	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	220	550	550	550	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>岐阜が中心となり、他、愛知から入荷。岐阜は1月2月は降雪のため作業の遅れがあり、中旬までは少ない状況。 愛知産は、GW明けに終了。今後は関東物に期待。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>							

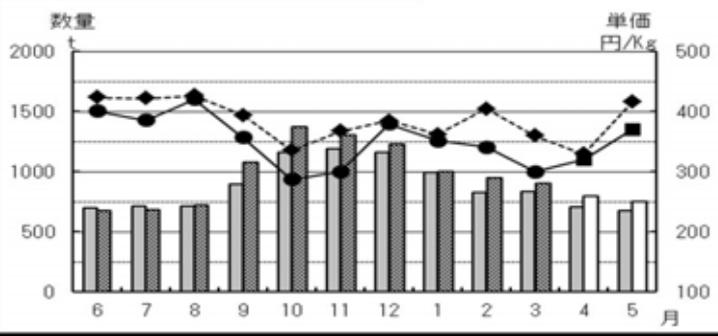
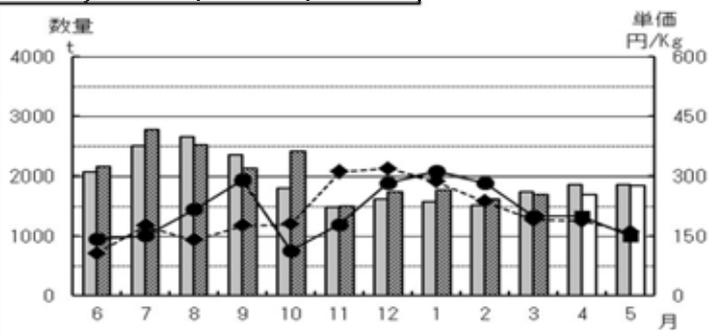
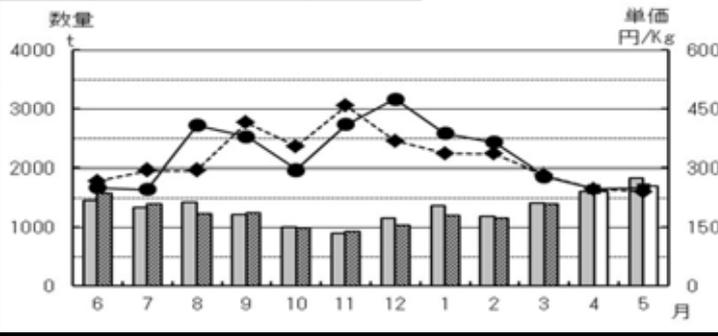
東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	22年	6,353	67	79	56	64	茨城 96%
	23年	5,860	32	28	27	47	長野 2%
	24年	6,955	59	43	63	71	
	25年	6,537	37	49	35	27	
	26年	5,767	48	48	49	49	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,294	49	50	47	52	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,600	70	80	70	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>茨城が入荷の中心となり、長野からの入荷が始まってくる。茨城は天候不順のなか生育はおおむね良好。作付面積は秋冬作の価格安から一部で減少した。出荷ピークは5月上旬ころまでの見込み。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>				
キャベツ	22年	18,886	88	92	77	94	千葉 42%
	23年	17,775	52	57	43	60	神奈川 30%
	24年	20,493	94	77	121	91	愛知 17%
	25年	19,217	61	70	62	48	茨城 9%
	26年	17,757	81	79	95	72	(愛知産比率 17%)
	5ヵ年平均	18,826	76	75	80	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	18,500	80	100	80	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>千葉、神奈川、愛知からの入荷が中心となる。千葉は生育良好で潤沢な入荷が期待できる。神奈川は生育が前倒し傾向で推移。愛知はピークを過ぎ終盤を迎える。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並の見込み。</p>				
ほうれんそう	22年	1,704	404	418	425	377	群馬 34%
	23年	1,344	379	310	389	442	茨城 30%
	24年	1,338	472	416	626	416	埼玉 12%
	25年	1,602	373	478	376	303	岩手 8%
	26年	1,356	458	447	533	414	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	1,469	415	416	464	387	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,500	450	600	450	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し			 <p>群馬、茨城、埼玉、岩手からの入荷が中心となる。群馬は施設の再建が進んでいるが以前ほどでなく露地が増加。主要産地の生育は良好で潤沢な入荷が期待できる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年並の見込み。</p>				

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	813	453	417	472	469	愛知 27%
	23年	783	328	316	323	365	大分 17%
	24年	778	390	392	399	392	鳥取 14%
	25年	765	356	374	352	376	中国 6%
	26年	679	416	416	428	430	
	5ヵ年平均	764	389	382	395	406	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	750	370	340	370	400	
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	白ねぎは鳥取、静岡、大分。普通ねぎは愛知。 白ねぎは2Pの太物の比率が多く、全体の4割ほど。普通ねぎは愛知中心で、越津ねぎから新ねぎに切り替わる季節だが、新ねぎの入荷量は少なめである。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
しそ	22年	1,688	202	270	197	129	長野 55%
	23年	1,713	122	133	108	136	兵庫 29%
	24年	1,863	195	194	211	189	茨城 10%
	25年	1,873	155	203	144	128	愛知 3%
	26年	1,876	161	176	160	153	
	5ヵ年平均	1,803	167	195	164	148	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,850	150	180	150	130	
しそ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	長野が始まる。他、兵庫の淡路島、茨城があるも、高冷地物が増える。 長野は干ばつの影響で遅れ気味も、この雨で持ち直す。 全体的に雨が多く、品質が心配される。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。						
きゅうり	22年	1,992	195	180	200	208	愛知 45%
	23年	1,939	224	181	220	276	群馬 14%
	24年	2,044	222	227	261	198	高知 12%
	25年	2,244	158	191	162	153	宮崎 11%
	26年	1,845	241	254	249	229	
	5ヵ年平均	2,013	206	206	217	211	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,700	250	270	250	220	
きゅうり	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	愛知、宮崎、高知が中心となり、群馬も増えてくる。埼玉が、昨年は雪で凍化し物がなかったが、今年は回復するも愛知県まで入荷することは現状厳しいと思われる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
ね	22年	3,629	374	345	374	398	茨城 35%	
	23年	3,803	314	308	298	347	千葉 27%	
	24年	3,972	331	394	279	324	埼玉 22%	
	25年	3,842	293	279	266	328	中国 5%	
	26年	3,835	339	327	338	350	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	3,816	330	331	310	349	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ぎ	27年見通し	4,000	310	320	310	300		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。天候不順のなか、茨城と千葉は生育良好で太物の発生が多い模様。埼玉は病害虫が多く早めに切り上がる見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。						
し た ス	22年	7,205	184	269	173	127	茨城 40%	
	23年	7,067	117	121	107	126	長野 28%	
	24年	7,804	180	171	202	171	群馬 19%	
	25年	7,922	141	168	133	122	兵庫 7%	
	26年	8,159	140	143	137	140	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	7,631	152	174	151	138	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
ス	27年見通し	8,100	165	200	160	135		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		茨城、長野、群馬、兵庫からの入荷が中心となる。天候不順のなか、茨城は気温上昇で生育が進み、大玉傾向。長野は気温上昇で生育が平年並に回復しており、5月から量がまとまってくる。 入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。						
き ゆ う り	22年	8,118	201	191	204	208	埼玉 23%	
	23年	7,906	222	182	208	268	群馬 20%	
	24年	8,816	225	231	273	186	千葉 13%	
	25年	8,975	169	198	159	152	茨城 13%	
	26年	8,026	265	281	277	241	(愛知産比率 0%)	
	5ヵ年平均	8,368	215	216	224	209	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
り	27年見通し	8,400	240	270	220	230		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
		埼玉、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。埼玉、群馬ともに施設再建が進んでいる。両産地とも曇雨天で樹勢が弱く生育遅れがみられたが天候回復で今後増量の見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。						

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	22年	1,343	290	342	282	252	愛知 40% 熊本 38% 宮崎 16% 高知 5%
	23年	1,320	262	275	249	267	
	24年	1,272	259	258	246	279	
	25年	1,222	266	294	278	240	
	26年	1,179	294	299	294	294	
	5ヵ年平均	1,267	274	294	269	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,200	290	300	290	280	
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知は千両が中心となり、長なすは熊本、宮崎から入荷。 1月から日照不足のため前年を下回っている。天候次第ではあるが、GW以降増える傾向にある。 入荷量、価格ともに前年並となる見込み。</p>						
ト	22年	1,710	260	321	235	235	熊本 49% 愛知 24% 三重 14% 岐阜 8%
	23年	1,961	193	227	177	195	
	24年	1,779	343	391	327	323	
	25年	1,995	237	282	263	197	
	26年	1,925	288	311	303	266	
	5ヵ年平均	1,874	263	304	260	242	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,900	280	300	280	260	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、熊本、三重、岐阜が中心となる。気温が低いため、根張りも悪く、出荷が遅れ気味。定植物も天候不順による生育不良でそこまで増えない。しかし、今後の天候回復次第では増加も見込まれる。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						
ミニ	22年	390	556	649	519	494	熊本 55% 愛知 33% 和歌山 7% 宮崎 5%
	23年	496	435	450	428	401	
	24年	530	585	670	510	549	
	25年	561	499	523	493	461	
	26年	575	558	590	541	540	
	5ヵ年平均	510	526	574	499	490	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	580	550	600	550	500	
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本、愛知が中心となる。他に、和歌山、宮崎からも入荷する。 熊本、愛知は出荷のピーク。5月は安定した入荷が見込まれ、価格も安定する。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	4,435	310	357	288	289	高知 46%
	23年	4,262	314	330	305	328	福岡 21%
	24年	4,345	313	308	296	332	群馬 7%
	25年	4,445	295	342	306	253	熊本 6%
	26年	4,319	366	385	379	343	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,361	319	344	315	309	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	4,200	420	520	420	320	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>高知、福岡、群馬、熊本からの入荷が中心となる。高知と福岡は曇雨天の影響で着果量が少ない、病害が発生。中旬頃には樹勢回復し増量の見込み。群馬は施設再建が進んでおり前年以上の出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ト マ ト	22年	8,546	299	331	277	293	熊本 24%
	23年	10,045	235	252	232	264	栃木 21%
	24年	9,331	363	403	340	344	愛知 11%
	25年	10,872	253	287	275	214	茨城 9%
	26年	10,465	300	326	311	272	(愛知産比率 11%)
	5ヵ年平均	9,852	288	318	287	275	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	9,800	370	400	360	350	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>熊本、栃木、愛知、茨城からの入荷が中心となる。熊本と愛知は曇雨天の影響で樹勢が弱く、小玉傾向だが、半促成型は今後潤沢な入荷が期待できる。栃木も小玉傾向で、病害が散見される。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	22年	1,440	529	632	482	478	熊本 36%
	23年	1,864	376	397	383	408	愛知 25%
	24年	1,982	548	642	491	511	宮崎 13%
	25年	2,230	448	493	458	403	千葉 9%
	26年	2,288	523	552	522	499	(愛知産比率 25%)
	5ヵ年平均	1,961	484	539	469	459	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,100	550	650	550	450	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>熊本、愛知、宮崎、千葉からの入荷が中心となる。主要産地は曇雨天の影響で樹勢が弱く小玉傾向、病害が散見される。樹勢回復に期待。熊本は作付面積増で前年並出荷の模様。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	764	347	540	293	265	宮崎 32% 茨城 27% 鹿児島 24% 高知 16%
	23年	757	194	217	193	224	
	24年	824	296	393	296	261	
	25年	821	241	361	251	191	
	26年	860	242	330	250	224	
	5ヵ年平均	805	264	368	257	233	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	820	250	270	250	230	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>宮崎、鹿児島、高知が中心。今月より茨城も。茨城は今後増えてくる模様。日照不足のため、傷みが出てしばむ。しかし、他の物より早く、順調に回復傾向にある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
白菜	22年	3,339	175	191	158	183	長崎 47% 鹿児島 35% 北海道 12% 熊本 3%
	23年	4,218	194	209	230	165	
	24年	4,030	110	162	111	90	
	25年	3,844	94	104	101	91	
	26年	3,512	126	143	130	122	
	5ヵ年平均	3,789	140	162	147	129	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	3,800	130	140	130	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>九州地方が中心となる。熊本はメイクイン、静岡は三河男爵での入荷、北海道は貯蔵物中心。長崎は5月中旬がピークで、鹿児島はGW以降5日間が出荷ピーク。雨で遅れたため、価格は高い状況が続く。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
たまねぎ	22年	5,767	87	100	83	80	愛知 72% 北海道 11% 兵庫 10% 中国 2%
	23年	4,515	70	88	73	58	
	24年	4,393	88	90	83	92	
	25年	5,049	61	61	61	61	
	26年	4,027	103	109	110	95	
	5ヵ年平均	4,751	81	89	81	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	4,500	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知、北海道、兵庫中心となる。4月までは北海道中心で計画出荷。5月からは愛知、兵庫が増加してくる。ともに大玉傾向で順調な出荷。国内産の順調な出荷と円安から輸入は少ない。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	2,368	384	519	346	317	茨城 74%
	23年	2,492	219	227	200	238	宮崎 11%
	24年	2,621	330	393	304	295	高知 10%
	25年	2,701	272	362	259	202	鹿児島 5%
	26年	2,836	277	335	260	237	(愛知産比率 0%)
マン	5カ年平均	2,604	295	365	273	256	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,700	400	500	400	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、宮崎、高知、鹿児島からの入荷が中心となる。各産地とも曇雨天の影響で樹勢が弱く、花落ちや病害が散見される。樹勢回復に期待。出荷量は前年を下回る見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ばいしょ	22年	9,484	175	174	158	197	長崎 46%
	23年	9,534	207	191	222	208	鹿児島 33%
	24年	12,363	112	147	106	94	北海道 11%
	25年	10,682	101	96	104	105	熊本 5%
	26年	10,388	133	138	129	132	(愛知産比率 0%)
いしょ	5カ年平均	10,490	143	148	141	143	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	10,000	145	160	140	135	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道に変わり長崎、鹿児島からの入荷が中心となる。長崎と鹿児島は3月の気温変動の影響で生育がバラツキ、遅れている。大玉比率は低い模様。北海道は前進出荷のため残量は前年ほどない。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
たまねぎ	22年	12,218	109	126	104	99	佐賀 62%
	23年	14,244	78	95	86	59	兵庫 8%
	24年	14,161	100	102	97	100	北海道 7%
	25年	15,134	65	64	67	66	千葉 6%
	26年	13,029	127	129	129	123	(愛知産比率 0%)
ねぎ	5カ年平均	13,757	94	102	95	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	12,500	100	100	100	100	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>北海道に変わり佐賀、兵庫、千葉からの入荷が中心となる。佐賀は上旬にマルチから露地に切り替わる見込み。兵庫は中旬ころに出荷ピークを迎える模様。千葉は生育良好も作付け減。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	22年	10,647	312	323	305	310	熊本 31% フィリピン 22% 青森 13% 愛知 9%
	23年	9,766	321	325	321	316	
	24年	9,703	318	330	314	315	
	25年	9,347	328	345	317	328	
	26年	8,285	382	399	374	381	
	5カ年平均	9,550	330	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,200	370	-	-	-	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>産地は熊本、フィリピン、アメリカ、青森が中心。国内の各産地において、燃料高及び天候不順の影響が本年も引き続き発生しており、昨年に引き続いて入荷量がすく婦負状況が続いている。 入荷量は前年並みで、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
その他メロン (アールスメロン以外)	22年	1,002	363	418	379	314	熊本 64% メキシコ 22% 愛知 7%
	23年	1,267	311	352	322	297	
	24年	993	368	437	379	344	
	25年	1,223	332	382	315	333	
	26年	1,076	387	448	365	373	
	5カ年平均	1,112	350	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,000	370	370	370	370	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>産地の中心は熊本、メキシコ。熊本は上旬がピークであり、中旬以降は愛知が出てくる見込み。熊本は作付面積の減少により、入荷量が減少。また、愛知も天候次第で入荷量が変わってくる。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
すいか	22年	1,770	209	218	208	202	熊本 88% 愛知 11%
	23年	1,725	206	221	214	217	
	24年	1,631	233	280	244	226	
	25年	1,752	210	243	216	207	
	26年	1,521	237	264	254	237	
	5カ年平均	1,680	218	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,600	240	250	240	230	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>産地は熊本中心。生産者減により作付けは減少しているが、気温が高く、作柄は良好。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並みの見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果	22年	30,129	347	362	343	338	熊本 24%
	23年	30,218	342	374	336	320	青森 15%
	24年	29,035	369	401	362	347	フィリピン 12%
	25年	29,429	357	376	355	343	茨城 12%
	26年	29,586	398	412	394	388	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	29,679	362	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	28,100	417	-	-	-	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>中晩柑類やいちごが順次終了し、すいか、メロン、びわ、いちじく等が入荷する。4月の天候不順等によりメロン類、すいか類、びわなどで入荷量の減少が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>						
その他	22年	659	474	475	490	460	茨城 70%
	23年	1,141	392	438	392	366	熊本 30%
	24年	755	446	558	492	375	静岡 0%
	25年	971	420	436	409	418	(愛知産比率 -%)
	26年	1,043	458	495	480	430	
	5ヵ年平均	914	434	476	446	407	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,000	471	509	494	442	
メロン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、熊本から入荷する。熊本、茨城ともに作付減により入荷量は減少の見込み。熊本は天候不順の影響で小玉化の傾向があり、サイズはL中心となる。茨城はLAを中心に中旬から下旬にかけてピークを迎える。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						
すいか	22年	5,606	236	253	228	228	熊本 68%
	23年	6,141	227	246	232	211	千葉 16%
	24年	6,239	254	287	259	232	茨城 13%
	25年	6,405	237	252	241	229	群馬 3%
	26年	6,421	258	266	265	249	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,162	243	261	245	230	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,300	264	273	272	255	
いか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本中心に千葉、茨城、群馬から入荷する。熊本は例年より少ない状況で2L中心。茨城は天候回復により上旬にかけて数量がまとまる見込みであるが、中旬には交配時期に天候不良であった部分が数量減となる可能性がある。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。</p>						

切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 4月29日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪ぎ	実績	22年	2,079	44	
		23年	2,084	38	
		24年	1,838	46	
		25年	2,063	40	
		26年	1,693	39	
	5ヶ年平均	1,951	41		
27年見通し	1,700	40			
概要	愛知、三重、沖縄等から入荷。4月下旬まで低温、日照不足が続き、5月上旬までは落ち着いた出荷で、夏菊の出荷も始まり、中旬以降増加してくると思われる。需要は業務中心で、出荷量により上下の差が大きくなる。				
小ぎ	実績	22年	819	33	
		23年	998	35	
		24年	1,147	28	
		25年	1,111	25	
		26年	1,160	22	
	5ヶ年平均	1,047	28		
27年見通し	1,100	28			
概要	沖縄、愛知から入荷。地場産は生産減に加え、曇天による日照不足や低温のため、露地物の生育が悪く、出荷は多くない。沖縄産の出荷量にもよるが、例年並みの動きと思われる。				
カーネーション	実績	22年	1,749	34	
		23年	1,768	37	
		24年	2,102	32	
		25年	1,904	43	
		26年	1,816	37	
	5ヶ年平均	1,868	37		
27年見通し	1,800	40			
概要	愛知、長野、和歌山等から入荷。今年は特に厳寒期に日照が少なく、年明け以降入荷が少なくなっており、4月においても月末まで日照不足により開花が少ない状態が続いている。母の日にはスプレーが一斉に切れ、明けにも出荷となる。スタンダードは大きな山はない。				
かすみ草	実績	22年	214	70	
		23年	256	53	
		24年	259	61	
		25年	267	61	
		26年	258	59	
	5ヶ年平均	251	60		
27年見通し	250	60			
概要	高知、和歌山、熊本からの入荷。母の日商戦のため、上旬は活発な動きになりそう。入荷は昨年より少なそうだが、心配するほどでもない。相場は例年並みで、中旬以降は高冷地も始まり、業務販売で引合いが強い。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	22年	359	159	
		23年	416	144	
		24年	400	144	
		25年	405	156	
		26年	341	140	
	5ヶ年平均		384	148	
	27年見通し		350	140	
概要	<p>OHは高知、埼玉中心の入荷。高冷地産もあり、産地は多い。4月出荷が意外に少なく、5月は特に母の日商戦にはかなり量が出荷される見込み。厳しい販売が続くことも考えられる。中旬以降の入荷は落ち着きそうで、相場も回復するであろう。鉄砲は少なめの入荷で価格安定。LAは埼玉が昨年の雪害から復帰し、かなりの量が出荷されると思われ、価格で厳しい場面もある。</p>				
洋らん	実績	22年	396	67	
		23年	386	80	
		24年	349	90	
		25年	451	78	
		26年	374	85	
	5ヶ年平均		391	80	
	27年見通し		380	85	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、徳島、輸入物が入荷。母の日需要により前半は堅調に動き、中下旬は相場も一段落する。季咲も一段落し、入荷量は不安定な状況が続くだろう。</p>				
バラ	実績	22年	1,000	69	
		23年	1,012	70	
		24年	1,028	70	
		25年	1,108	73	
		26年	1,000	69	
	5ヶ年平均		1,030	70	
	27年見通し		1,000	70	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山中心に入荷。曇天の影響による出荷減も回復しつつあり、母の日向けの出荷計画が狂った産地もあるが、順調に入荷する予定。輸入は少なく、母の日は色目によって少ない色もある。母の日以降も出荷量は堅調に推移する。</p>				
枝も	実績	22年	1,589	39	
		23年	1,587	40	
		24年	1,611	41	
		25年	1,687	43	
		26年	1,546	44	
	5ヶ年平均		1,604	42	
	27年見通し		1,500	45	
概要	<p>愛知、岐阜、静岡から入荷。前半はイベントもあり、特定の品目は堅調となるが、後半はイベント疲れで相場は弱くなりそうだ。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カララ	実績	22年	44,317	500	
		23年	34,160	539	
		24年	49,818	554	
		25年	51,200	516	
		26年	51,251	510	
	5ヶ年平均		46,099	523	
	27年見通し		51,000	520	
概要	<p>入荷量は5月中旬より減少となるか。母の日前の5月初旬が出荷量及び相場のピークとなる。昨年同様に発色の良いピンク、キイロ系で輪数の多いもので引き合いが強くなると予想される。</p> <p>昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位埼玉(29.1%)、2位愛知(29.0%)、3位長野(21.5%)となっている。</p>				
ファレス	実績	22年	50,638	2,252	
		23年	55,214	1,932	
		24年	61,331	2,228	
		25年	57,985	2,201	
		26年	38,310	2,643	
	5ヶ年平均		52,696	2,225	
	27年見通し		37,000	2,200	
概要	<p>入荷量は昨年並みもしくは微増か。ミディー系は母の日需要が大きい為、上旬に出荷をかためて頂きたい。中旬以降は一度商品入替になるので上旬とは違うパターンでの出荷スタイルの方が良いと思われる。</p> <p>昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(55.1%)、2位熊本(9.6%)、3位静岡(8.6%)となっている。</p>				
バラ	実績	22年	95,354	362	
		23年	89,686	355	
		24年	101,151	374	
		25年	108,690	385	
		26年	108,320	380	
	5ヶ年平均		100,576	372	
	27年見通し		100,000	380	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。5月のGW、母の日の需要により昨年同様、特に3から3.5号のポットローズ系が不足が予想される。商品(バスケットや寄せ植え等)を中心に早くなっている事から、セリに出荷する商品が少ないと予想される。物日が終わると各サイズごとに単価面が厳しそう。</p> <p>昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(49.4%)、2位愛知(36.8%)、3位その他(4.3%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドロランジア	実績	22年	216,332	669	
		23年	222,346	675	
		24年	239,420	690	
		25年	246,258	725	
		26年	240,721	742	
		5ヶ年平均	232,871	702	
	27年見通し	232,000	700		
概要	<p>入荷量は前年よりやや減少か。ギフトの荷動き中心で5号が主体となる。バイカラー系のガク・玉咲きに人気集中、ダンスパーティーは潤沢に入荷する見込み。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(70.0%)、2位群馬(9.2%)、3位埼玉(3.6%)となっている。</p>				
スパティ	実績	22年	50,241	258	
		23年	40,934	272	
		24年	35,908	298	
		25年	35,112	301	
		26年	38,310	264	
		5ヶ年平均	40,101	277	
	26年見通し	38,000	280		
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。3号～3.5号のPOT物は母の日の寄せカゴ需要もあり引き合いが強いと思われる。7号以上は昨年同様に動きが鈍いと予想される。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重(42.3%)、2位愛知(33.1%)、3位岐阜(18.2%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	22年	370,288	450	
		23年	365,580	434	
		24年	402,651	429	
		25年	355,841	428	
		26年	351,450	428	
		5ヶ年平均	368,872	434	
	26年見通し	365,000	435		
概要	<p>今年に関しては競売日が一市ずれている為、入荷量は前年よりやや増加か。物日需要はますます短期集中型の傾向にあり、相場は昨年並みと予想。ピンクや白系覆輪タイプの品種の引き合いが強いと思われる。 昨年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(48.9%)、2位埼玉(7.3%)、3位群馬(7.2%)となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

1 輸入実績

品名	2月						2月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	65,412	82.2	7,784,298	90.9	119	110.6	124,700	73	15,610,037	86	125	117
トマト	476	112.0	177,930	101.4	374	90.6	919	96	352,444	89	384	93
たまねぎ	24,362	83.7	1,241,563	72.4	51	86.5	47,757	74	2,482,660	66	52	90
にんにく	1,432	120.3	285,520	147.7	199	122.7	3,093	109	628,811	136	203	126
ねぎ	3,818	79.6	427,569	79.0	112	99.3	8,661	93	1,024,894	91	118	97
ブロッコリー	1,031	36.1	251,884	46.9	244	129.8	2,289	44	560,076	56	245	127
結球キャベツ	2,166	35.3	97,396	37.1	45	105.1	4,476	34	192,390	33	43	98
にんじん・かぶ	3,588	65.3	187,992	56.4	52	86.3	7,215	63	380,732	53	53	84
ごぼう	2,908	88.3	162,127	52.6	56	59.6	6,201	86	360,421	52	58	60
えんどう	99	247.5	41,304	297.2	417	120.1	183	163	79,986	184	437	113
アスパラガス	1,538	68.4	1,056,088	96.8	687	141.6	2,331	71	1,800,613	96	772	135
まつたけ	-	-	-	-	-	-	1	-	463	-	463	-
しいたけ	275	75.3	104,678	75.9	381	100.8	684	83	252,567	81	369	98
かぼちゃ	14,775	115.0	1,216,391	128.9	82	112.1	25,009	78	2,366,235	94	95	120
果実(生鮮・乾燥)	112,247	97.8	19,271,419	109.2	172	111.6	214,263	93	37,748,106	103	176	111
バナナ	67,570	101.9	6,086,061	113.9	90	111.7	132,632	99	11,833,247	109	89	111
パイナップル	10,366	107.0	850,459	127.2	82	118.9	20,921	110	1,705,928	131	82	119
レモン	4,684	120.7	1,245,803	157.7	266	130.6	7,427	89	1,971,979	115	266	130
オレンジ	6,057	85.0	1,002,473	88.9	166	104.5	8,260	69	1,378,938	73	167	107
グレープフルーツ	6,372	72.7	943,343	84.2	148	115.7	12,132	65	1,836,593	76	151	116
メロン	2,267	99.7	297,308	114.6	131	114.9	3,476	88	488,443	107	141	122
ぶどう	3,813	271.0	1,168,372	362.2	306	133.7	6,840	321	2,235,478	404	327	126
キウイ	53	84.1	19,505	96.8	368	115.1	53	84	19,505	97	368	115
いちご	3	300.0	5,088	256.6	1,696	85.5	4	55	6,007	63	1,502	115
切花(生鮮・乾燥)	2,767	101.7	2,523,686	107.1	912	105.4	5,587	101	5,261,380	106	942	105
鳥獣肉類	137,788	96.2	75,123,850	109.1	545	113.4	276,550	96	151,894,878	110	549	114
牛肉(くず肉含む)	35,448	105.2	25,672,991	144.2	724	137.0	68,584	102	50,369,219	141	734	139
豚肉(くず肉含む)	53,991	80.9	30,094,453	85.0	557	105.1	107,974	81	60,329,176	85	559	105
鶏肉	41,164	116.6	12,929,347	132.7	314	113.9	84,720	120	27,380,676	141	323	117
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	114,641	112.6	79,147,170	109.7	690	97.5	255,231	103	179,539,486	107	703	104
まぐろ類	13,760	75.2	14,069,842	74.9	1,023	99.6	30,042	89	35,154,890	107	1,170	120
さば・さんま・あじ・いわし	8,733	152.7	1,989,220	172.0	228	112.6	25,254	119	5,588,612	118	221	100

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	2,142	116.9	1,031,169	141.8	481	121.3	11,427	192	4,832,865	189	423	99
うんしゅうみかん	81	150.0	43,185	170.0	533	113.3	204	98	109,369	94	536	96
りんご	1,865	107.9	668,105	110.4	358	102.3	10,790	195	4,112,750	192	381	99
なし	3	-	1,778	-	593	-	60	728	30,966	709	516	98
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	212,821	95.2	-	-	-	-	714,227	155	-	-
緑茶	331	117.0	758,263	120.0	2,291	102.6	625	119	1,478,817	124	2,366	104

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年11月	103.2	90.7	95.1	109.7	113.5
	12月	103.3	95.3	103.8	109.8	117.1
	27年 1月	103.1	107.9	119.6	110.4	117.2
	2月	102.9	102.3	121.2	110.8	116.4
愛 知 県	24年平均	99.5	95.9	102.9	98.6	101.4
	25年平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	26年11月	103.1	98.6	93.8	111.9	114.4
	12月	103.1	100.0	106.0	113.4	116.5
	27年 1月	102.8	111.1	124.1	112.7	116.5
	2月	102.7	104.6	128.0	113.1	116.0

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年11月	93.3	84.1	78.6	81.8	123.5
	12月	103.5	84.2	108.8	94.1	124.9
	27年 1月	108.6	83.6	119.8	119.7	119.9
	2月	109.3	83.5	118.0	121.1	122.7

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ り」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均	2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
26年11月	1,906	124	155	592	347	297	130	312	242	617	691	182	446
12月	1,857	135	122	602	496	287	136	338	240	549	645	179	451
27年 1月	1,850	192	146	666	750	317	166	360	247	719	639	191	484
2月	1,836	172	141	582	531	333	150	296	245	666	671	194	488
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(バラ)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g					
24年平均	582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均	581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
26年11月	490	297	436	-	233	816	527	164	172	335	256	878	450
12月	504	372	443	209	243	828	537	180	185	374	248	647	361
27年 1月	633	452	462	196	242	870	537	167	176	357	224	925	488
2月	691	479	497	191	253	881	535	170	177	360	226	925	495

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 503
平成27年5月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421